

2008 韓国研修

7月28日から8月2日にかけて、高校IコースのI・II・III年生23名が参加し、韓国研修旅行が実施されました。折しも指導要領解説書への竹島問題の記述を巡って、日韓関係に影が差す状況の中での出発となりましたが、姉妹校の方々のホスピタリティにも支えられて、歴史文化施設の訪問、啓星女子高の生徒達との交流、ホームステイなど、意義深い学びの時を持つことができました。

仏国寺・国立中央博物館・景福宮

世界遺産に登録されている慶州・仏国寺をはじめ、ソウルの景福宮などの貴重な文化遺産を見学した。美しい建築や精緻な工芸品などが特に目を引く。一方で、日本の侵略や戦争の中で破壊された文化財も数多くある。



← 仁川空港にて

独立記念館・安重根記念館

天安の独立記念館には無数の太極旗がはためき、竹島の領有権を主張する垂れ幕が掲げられていた。植民地時代に韓国の人々が受けた弾圧を再現した展示には、強い衝撃を受けた生徒も多かった。安重根記念館では、事前学習で大林寺を訪れていたこともあり、多くの生徒が関心を持って真剣に見学していた。



↑ 独立記念館には無数の太極旗
民族の記憶を刻む独立記念館 →



→ 景福宮も戦禍を被った



↑ 世界遺産・仏国寺にて

日程

7月28日(月)

仙台空港出発にて出発式
ソウル到着後、慶州へ移動

7月29日(火)

仏国寺・天馬塚・慶州国立博物館・独立記念館を見学

7月30日(水)

景福宮・安重根記念館・中央博物館・姉妹校・啓星女子高校との交流会

【生徒ホームステイ】

7月31日(木)

非武装地帯・地下トンネル・展望台・伝統文化体験(七宝焼制作)

【生徒ホームステイ】

8月1日(金)

ホストファミリーとの自由行動・仁川に移動

8月2日(土)

仙台空港到着 解散式

↓ 啓星女子高のホストシスター



参加生徒の感想から

★独立記念館の展示を見ていて、涙が出そうになりました。新しい関係を考えていくことは必要なことですが、こうやって過去の歴史を肌で感じることも大切なことなのではないかと考えました。独立記念館に行ってきた、そう思えるなんて想像もしていませんでした。また、研修旅行を通してたくさんの人に声をかけられたり、一緒に笑えたりしたことが一番心に残りました。白百合の先輩や韓国ではじめて会った人達、普段の高校生活では接することができない人達と話すことができたことは、本当に有意義でした。(高I 岩佐みどり)

★ホストファミリーはとても暖かい、笑顔の絶えない家庭でした。今度はぜひ日本に来てほしいし、私もできるだけ人に親切にしたいと思うようになりました。心から感謝しています。カムサハムニダ!(高II 仲野しらべ)

★私はこの研修を通して、日韓の悲しい歴史や人間の温かな愛情など、たくさんのことを考え、学び、感謝することができました。これらのことは、実際に研修に参加しなければ分からないし、経験できなかったと思います。私はこの研修に参加できたことを誇りに思っています。(高II 竹内史織)

★事前学習で日韓の歴史を学んでいったので、現地では受け身になるのではなく、自分で主体的に考える場面が沢山ありました。日本から離れることで、自分が日本人であるという意識が強くなり、日韓の間の問題の重みをより実感しました。今の時代に必要なのは、自分の国の歴史を、是の面も非の面も学んでいくことだと思います。それが認識できて初めて、未来も見えてくるのだと思います。

(高III 伊多波莉奈)

啓星女子高等学校訪問

姉妹校・啓星女子高校を訪れ、文化交流会を行った。啓星女子高は伝統楽器(伽耶琴・奚琴)、合唱、ギター演奏、伝統舞踊(扇子舞)などを披露し、仙台白百合は歌やすずめ踊り・ソーラン節を発表した。その後、生徒たちは各家庭でホームステイを行った。

↓ 仙台白百合学園も練習の成果を披露



↑ 韓国伝統舞踊・ブチェチュム
(扇子踊)



非武装地帯見学

ホストシスター達と一緒に非武装地帯(DMZ)を訪れ、地下トンネルや統一展望台・南北鉄道の駅を見学した。国境地帯に武装した兵士が常駐している状況を目の当たりにし、韓国と北朝鮮の戦争がまだ終わっていないという現実を改めて認識させられた。



国境地帯を警備する兵士達